

『1店1品』柳川町ルネサンス ～コロナに負けない！ 転禍為福～

事業実施主体：柳川町サービス商業振興会
事業実施箇所：群馬県高崎市
商店街店舗数：150店舗

- 柳川町飲食店街は外国人経営者が増えたこともあり、一致団結する場面がなかった。しかし、コロナ禍で商店街の役員が外国人経営者のサポートをする機会が増え、このことが縁になり互いに助け合う精神が一気に強まった。
- 夜の飲食店街の客足は途絶え、極度に疲弊。課題解決には感染症対策万全化PRと魅力創出の為のイチオシ商品開発が急務。外国人経営者と協力し、飲食店街として統一したPRを行い「1店1品」運動の継続に取り組んでいく。

背景・課題

- ✓ コロナ禍で飲食店街の客足が激減し、深刻な状況である。
- ✓ 感染症対策を万全な体制に整えてPRする必要がある。
- ✓ 商店街の魅力創出のため、商品開発に力を入れる。

取組内容

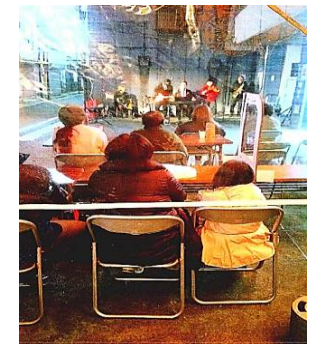
- ✓ ジャンルにこだわることなく、各店舗のイチオシの品を真剣に考えて「1店1品」運動を実施し、PRを行う。
- ✓ 地元パフォーマーによる生バンド演奏。
- ✓ 昔ながらの映画館(高崎電気館)で無料映画上映会を実施(昭和の名作“秋日和”)。

見込まれる効果等

- ✓ イベントを実施することで、夜の飲食店街を活気づける。
- ✓ 「1店1品」で各店舗への来客数の増加と商店街のPRへつなげる。
- ✓ 商店街が個店を全面支援するのではなく「自立支援」することで、各個店の地力を育てる。



イベントポスター



生バンド演奏会